

群馬県

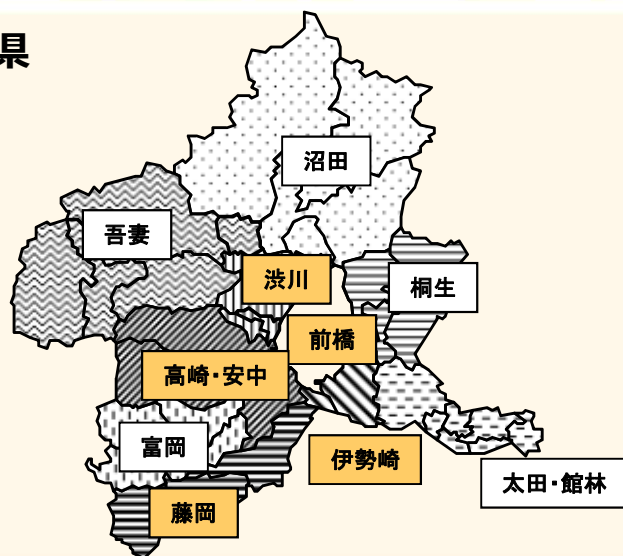
群馬県地域医療構想について

資料概要：

群馬県では平成28年11月、地域医療構想を策定しました。地域医療構想策定後は、県内10地域ごとに地域医療構想調整会議を開催し、病床機能報告の結果を情報共有したり、公的医療機関等2025プランを議題にしたり、病床機能の分化・連携を促進するとともに、地域医療構想の達成に向けた取組を進めているところです。

1 都道府県及び構想区域の基礎情報①

群馬県



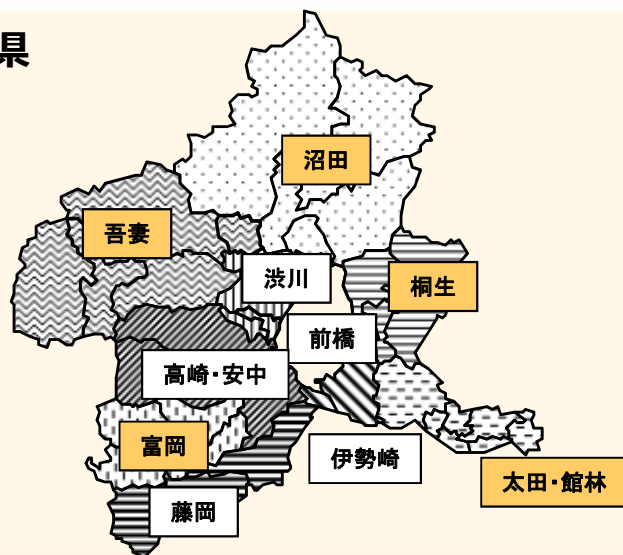
構想区域	人口 (人)	市町 村数	報告対象 病院数	公立 病院	公的 医療 機関 等	その他	報告 対象 有床 診療所	医師 総数 (人)	人口10 万対 (人)
前橋	334,715	1	18	1	4	13	20	1,581	471.4
渋川	112,450	3	7	1	1	5	4	237	209.3
伊勢崎	246,364	2	9	1	1	7	15	441	179.4
高崎・安中	427,193	2	31	1	2	28	25	887	206.9
藤岡	67,651	3	5	2	0	3	3	166	242.9

構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数（床）								2025年病床数の必要量（床）				
	高度 急性期 (A)	急性期 (B)	回復期 (C)	慢性期 (D)	休棟等 (E)	非稼働 病床数	未報告 (施設)	合計 (A～E)	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
前橋	1,341	1,659	284	469	38	19	1	3,791	529	1,429	1,149	459	3,566
渋川	71	745	68	255	51	51	1	1,190	128	256	287	256	927
伊勢崎	11	1,316	247	471	18	58	2	2,063	186	627	805	544	2,162
高崎・安中	54	2,346	437	1,091	12	78	0	3,940	283	975	1,314	1,127	3,699
藤岡	0	532	186	195	33	19	0	946	95	314	331	126	866

※人口：H29年10月1日現在 ※報告対象の病院及び有床診療所数：H28年度病床機能報告の対象施設数（H28年7月時点）
 ※医師数：H28年医師・歯科医師・薬剤師調査により算出 ※病床機能報告における病床数はハンセン病療養所の病床を除く

1 都道府県及び構想区域の基礎情報②

群馬県

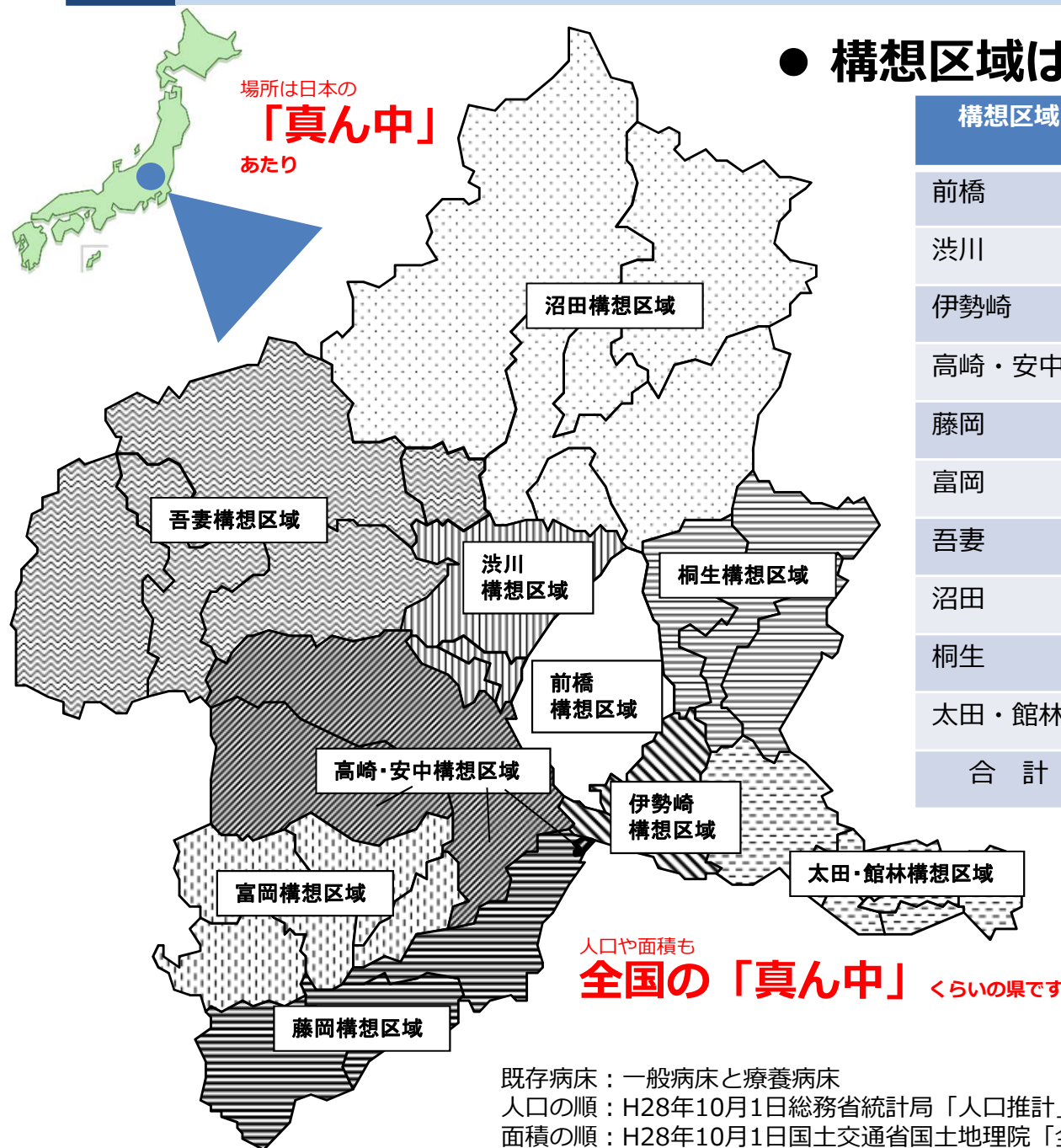


構想区域	人口 (人)	市町 村数	報告対象 病院数	公立 病院	公的 医療 機関 等	その他	報告 対象 有床 診療所	医師数 (人)	人口10 万対 (人)
富岡	70,561	4	4	3	0	1	2	166	232.2
吾妻	54,724	6	8	1	1	6	4	82	147.6
沼田	81,030	5	7	0	1	6	3	149	181.2
桐生	161,958	2	11	1	0	10	6	323	197.1
太田・館林	401,969	7	16	2	1	13	10	588	146.4

構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数（床）								2025年病床数の必要量（床）				
	高度 急性期 (A)	急性期 (B)	回復期 (C)	慢性期 (D)	休棟等 (E)	非稼働 病床数	未報告 (施設)	合計 (A～E)	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
富岡	6	388	57	437	0	9	0	888	59	185	179	302	725
吾妻	0	294	201	413	18	37	0	926	18	103	284	167	572
沼田	119	478	245	163	14	14	0	1,019	69	313	251	228	861
桐生	52	891	269	713	6	6	0	1,931	102	413	528	463	1,506
太田・館林	36	2,013	261	807	56	28	0	3,173	231	857	939	667	2,694

※人口：H29年10月1日現在 ※報告対象の病院及び有床診療所数：H28年度病床機能報告の対象施設数（H28年7月時点）
 ※医師数：H28年医師・歯科医師・薬剤師調査により算出 ※病床機能報告における病床数はハンセン病療養所の病床を除く

2 群馬県の特徴①：本県は、人口・面積とも、だいたい真ん中くらいの県です。



● 構想区域は10地域です（二次医療圏と同じ）

構想区域	既存病床数 (H29年10月)	病床機能報告 (H28年度)	病床数の必要量 (2025年)
前橋	3,581	3,791	3,566
渋川	1,046	1,190	927
伊勢崎	1,901	2,063	2,162
高崎・安中	3,474	3,940	3,699
藤岡	913	946	866
富岡	825	888	725
吾妻	867	926	572
沼田	958	1,019	861
桐生	1,678	1,931	1,506
太田・館林	3,093	3,173	2,694
合 計	18,336	19,867	17,578 (単位：床)

※県内10の構想区域のうち、病床数の必要量（必要病週数）が既存病床数を上回る構想区域は2地域です。

● 人口
約196万人

全国
18番目

● 面積
約6,362m²

全国
21番目

既存病床：一般病床と療養病床

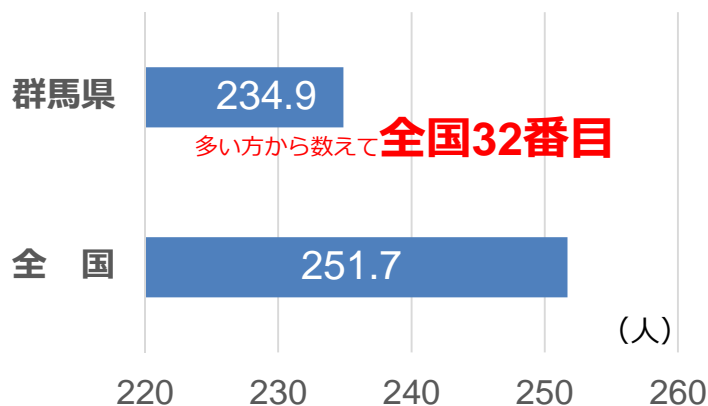
人口の順：H28年10月1日総務省統計局「人口推計」より多い順

面積の順：H28年10月1日国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」より大きい順

2 群馬県の特徴②：医師をはじめ医療従事者は全国平均を下回る傾向にあります。

医師総数

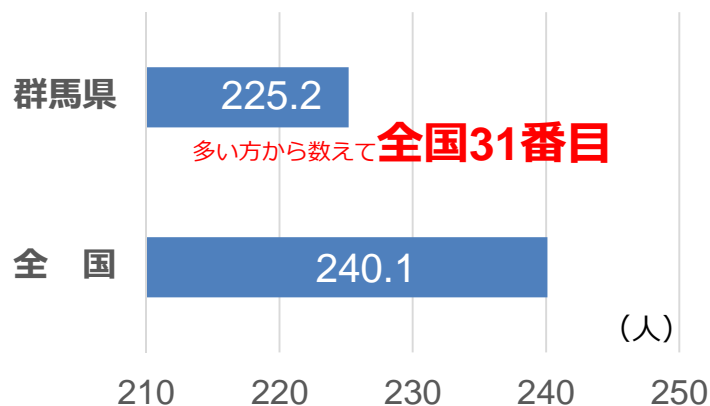
(H28.12.31 人口10万人対)



(H28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

医療施設従事医師数

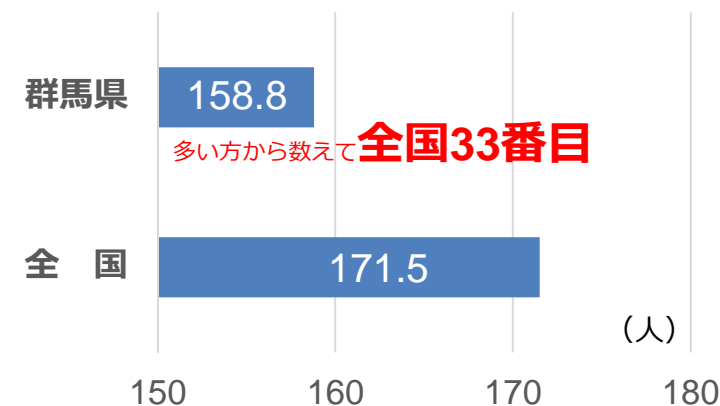
(H28.12.31 人口10万人対)



(H28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

病院の常勤換算医師数

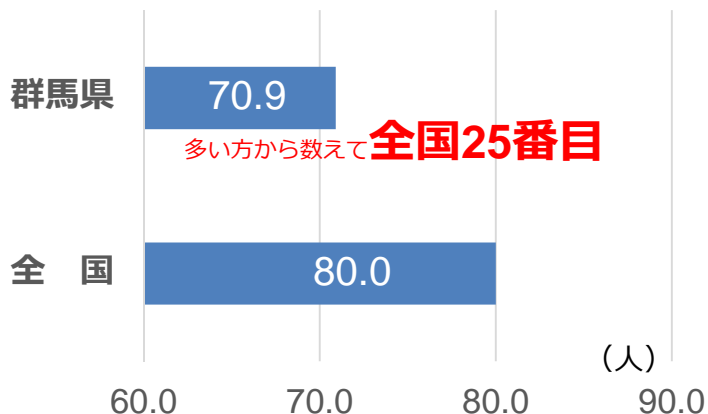
(H28.10.1 人口10万人対)



(H28年 病院報告)

医療施設従事歯科医師数

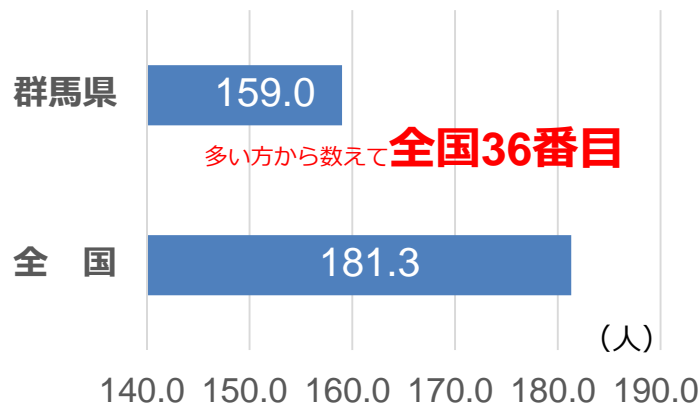
(H28.12.31 人口10万人対)



(H28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

医療施設従事薬剤師数

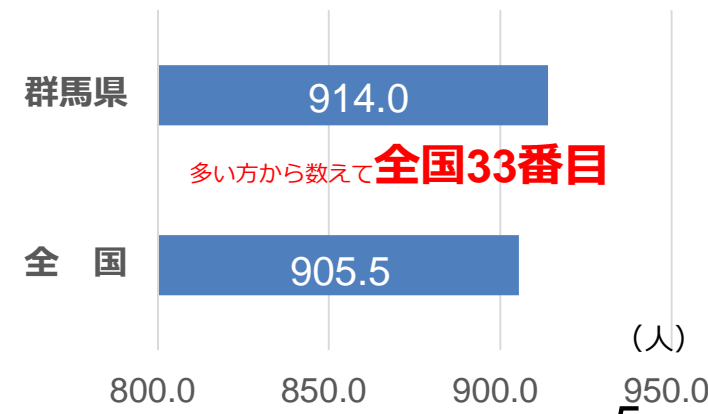
(H28.12.31 人口10万人対)



(H28年 医師・歯科医師・薬剤師調査)

就業看護師数

(H28.12.31 人口10万人対)

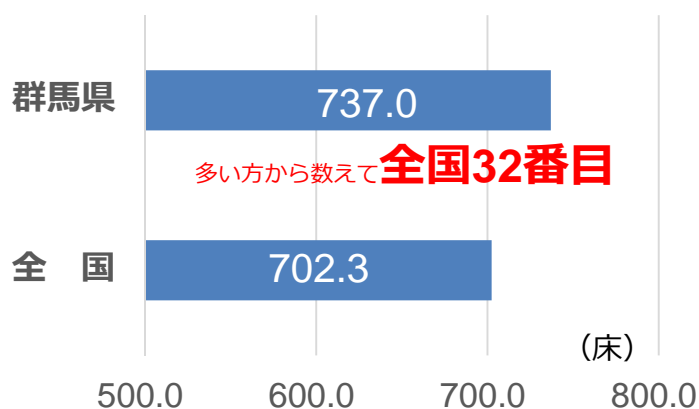


(H28年 衛生行政報告例 (就業医療関係者))

2 群馬県の特徴③：平均在院日数は短く、医療費も全国平均より少ない方です。

一般病床数（病院）

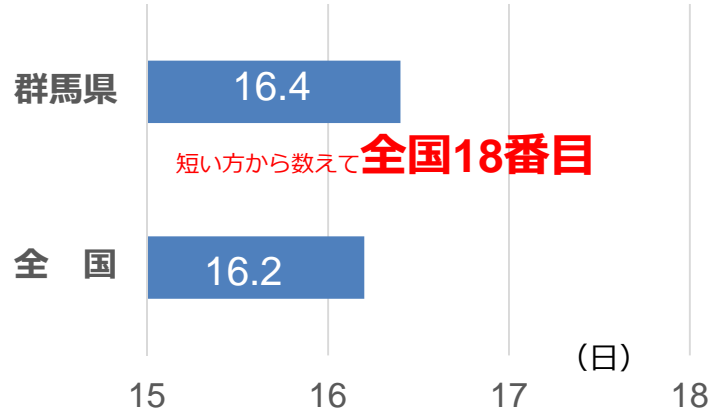
（H28.10.1 人口10万人対）



（H28年 医療施設（動態）調査）

一般病床の平均在院日数

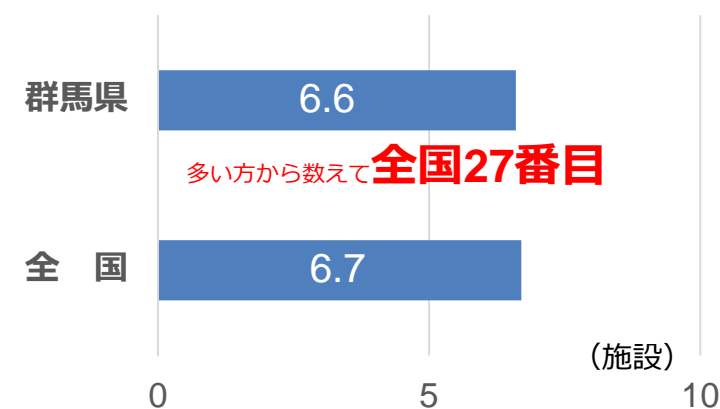
（H28年（年間））



（H28年 病院報告）

病院数

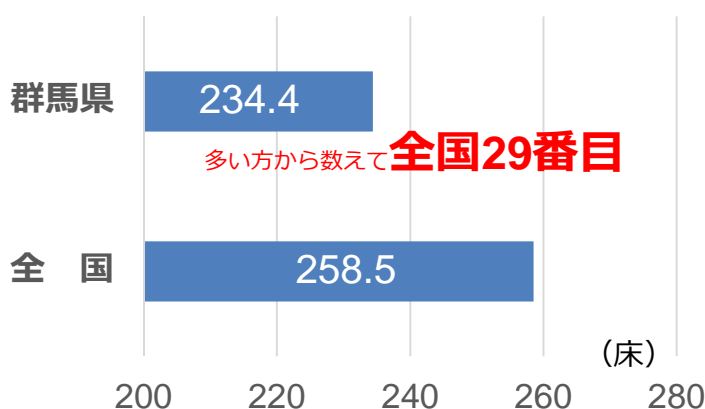
（H28.10.1 人口10万人対）



（H28年 医療施設（動態）調査）

療養病床数（病院）

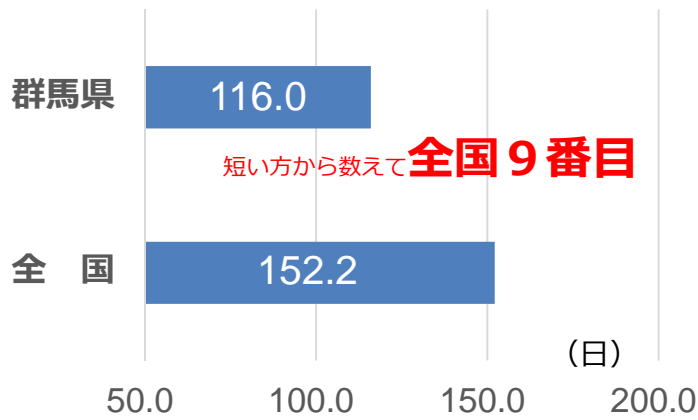
（H28.10.1 人口10万人対）



（H28年 医療施設（動態）調査）

療養病床の平均在院日数

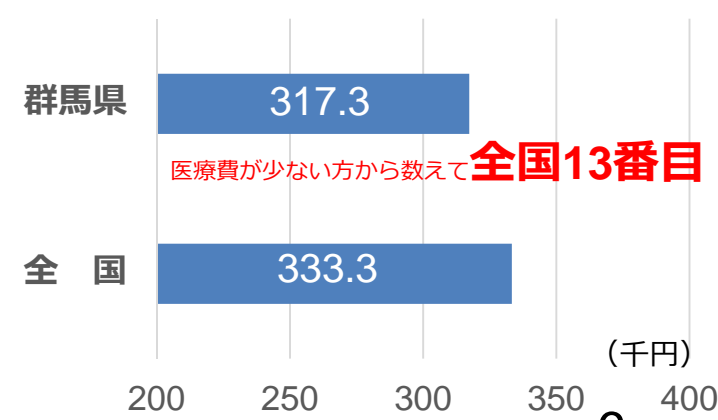
（H28年（年間））



（H28年 病院報告）

一人当たり医療費

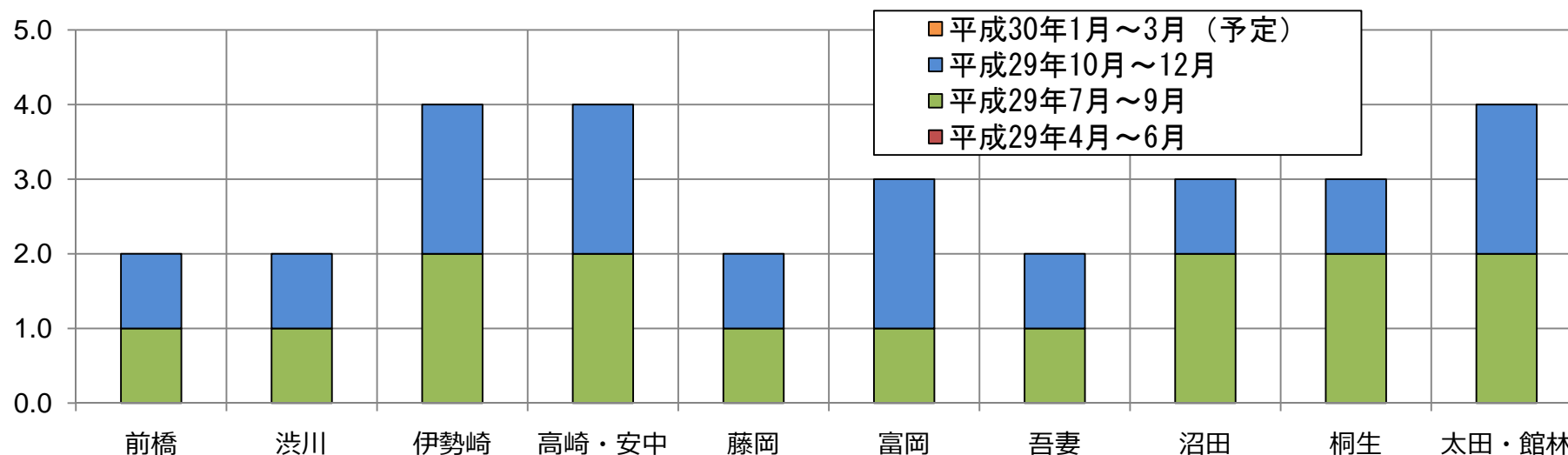
（H27年度）



（H27年 医療費の概況）

3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

■ 構想区域ごとの調整会議の開催状況（開催延べ回数）（平成29年12月末時点）



■ 意見交換会等の取組例

○ 県地域医療構想の説明会

- 二次保健医療圏内の全病院の事務長が自主的に集まる「病院事務長懇話会」などに県担当者が出向いて、本県の地域医療構想についての説明や意見交換などを実施。

○ 基幹病院の個別訪問

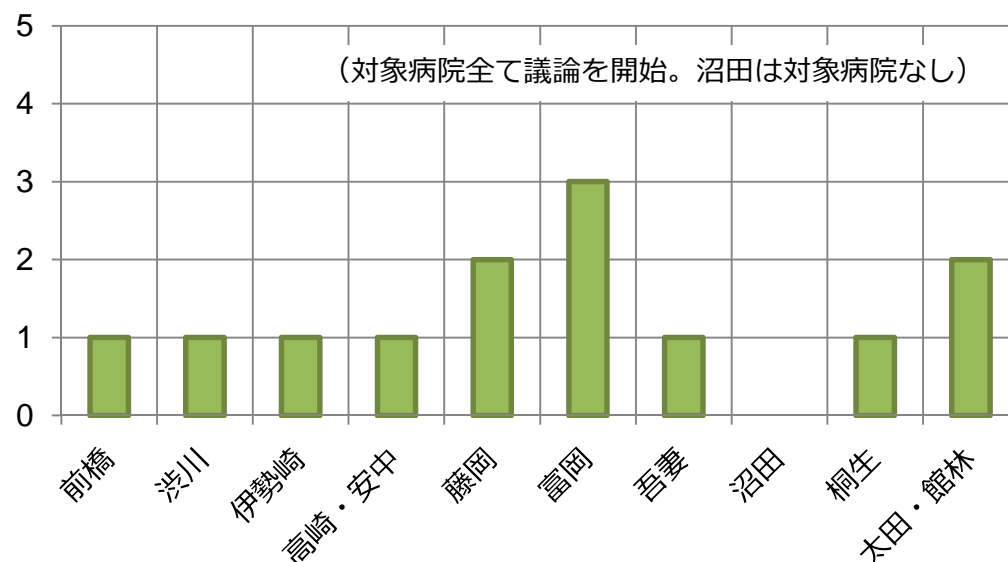
- 所属長等が地域の基幹的な病院などを訪問し、院長や事務長、看護部長などと各病院が地域で担おうと考えている役割や課題、医師・看護師確保などについて直接、意見交換を実施。

○ 全日本病院協会群馬県支部等との連携

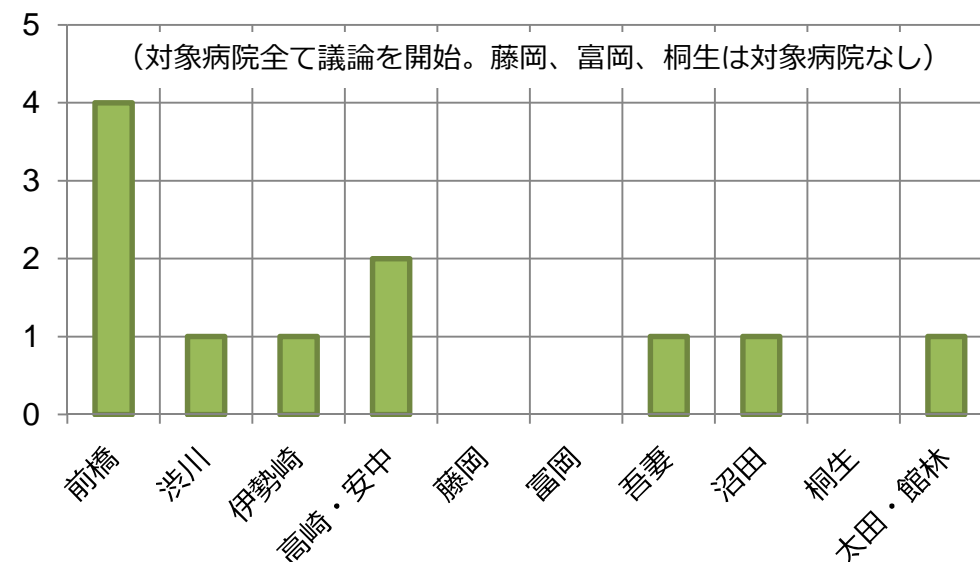
- 全日本病院協会群馬県支部が開催する地域医療構想に関する研修会について、県としても後援。
（講師：厚生労働省・佐々木地域医療計画課長、講演：地域医療構想における調整会議の進め方について）

4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

- 構想区域ごとの新公立病院改革プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



- 構想区域ごとの公的医療機関等2025プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



■ プランの活用について

【協議の進め方】

- 「新公立病院改革プラン」及び「公的医療機関等2025プラン」については、平成29年8月4日付けの厚生労働省医政局長通知を受け、県内の対象病院に対して平成29年10月末までにプランを県に提出するよう依頼。
- 全ての対象病院からプランの提出。
- 平成29年11月～12月にかけて県内10地域で保健医療対策協議会（地域医療構想調整会議）を開催し、提出されたプランを資料配付するとともに、各対象病院から説明を行った。

【活用方法】

- 県内10地域の保健医療対策協議会（地域医療構想調整会議）において資料配付し、説明。

【スケジュール】

- すでに両プランについては上記のとおり全ての対象病院に関して協議会の議題で取り扱っている。

5 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫

■群馬県地域医療構想に関する説明会の開催

- 二次保健医療圏内の全病院の事務長が自主的に集まる「病院事務長懇話会」などの場に県の担当者が出向いて、本県の地域医療構想についての説明を行うとともに意見交換などを実施。

■県内の基幹病院等への個別訪問

- 所属長等が地域の基幹的な病院などを個別に訪問して、院長や事務長、看護部長などと、各病院が地域で担おうと考えている役割や課題、医師や看護師の確保に向けた取組などについて、直接、意見交換を実施。
(H28年度は計26病院を訪問、H29年度は計31病院を訪問)

■全日本病院協会群馬県支部等との連携

- 全日本病院協会群馬県支部が開催する地域医療構想に関する研修会（群馬県病院協会との共催）について、県としても後援。
講師：厚生労働省・佐々木地域医療計画課長
講演：「地域医療構想における調整会議の進め方」
期日：平成30年2月17日（土）

6 医療機関の再編・統合の参考事例

【事例】

- 国立病院機構西群馬病院及び渋川総合病院の再編統合事業

【時期】

- H24年：基本協定の締結、H28年～：新病院「渋川医療センター」

【概要】

- 渋川市立渋川総合病院は当時、医師不足や経営面で課題を抱えており、また、同じ渋川保健医療圏内にあった国立病院機構西群馬病院も、施設の老朽化や患者利便性に課題を抱えていた。
- 渋川保健医療圏には拠点となる基幹的な病院がなかったため、隣接する前橋保健医療圏まで患者が流れている状況がみられた。
- こうしたことから群馬県地域医療再生計画（H22年度策定）に基づいた新病院整備を実施することとなり、H24年2月に国立病院機構と渋川市による新病院の整備・運営に関する基本協定が締結され、平成28年4月には国立病院機構渋川医療センターとして新病院が開院した。

<参考>

■再編前

- ・ 国立病院機構西群馬病院：380床（うち結核病床50床、重度心身障害者病床80床）
- ・ 渋川総合病院：154床（うち感染症病床4床）

■再編後

- ・ 渋川医療センター：450床（うち結核46床、感染症4床、重心100床）

7 都道府県としての来年度への抱負

地域医療構想調整会議の運営について

- 地域医療構想における病床数の必要量（必要病床数）に関し、一律的な病床削減につながることを懸念する意見や、必要病床数と基準病床数との関係がわかりづらいといった意見なども多いことから、引き続き、丁寧に説明していきます。
- 病床機能報告は病棟単位での報告であることを踏まえ、必要病床数との単純な比較ではなく、地域医療構想調整会議における関係者の意見を最大限に尊重しながら、地域の実情に応じて必要な医療が確保できるよう努めていきます。

医療機関の機能分化・連携の支援について

- 本県では、平成26年度から地域医療介護総合確保基金を活用し、病床機能分化・連携推進事業（回復期病床への転換に必要な施設整備や設備整備にかかる費用の一部を補助する事業）に取り組んでいます。
- 引き続き、関係者の意見を十分に聞きながら、より一層効果的な支援策についても検討していきます。

介護施設・在宅医療等の整備について

- 介護施設や在宅医療等の整備についても、地域医療介護総合確保基金を活用して、ハードだけでなく、人材の育成や確保も含め、取り組んでいるところです。
- 引き続き、県内市町村をはじめ、群馬県地域医療介護総合確保懇談会における協議などを通じて、より一層効果的な支援策についても検討していきます。

